

日本産業衛生学会 北陸甲信越地方会ニュース

発行所：日本産業衛生学会 北陸甲信越地方会事務局
〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1 信州大学医学部衛生学公衆衛生学教室
TEL：0263-37-2622 FAX：0263-37-3499
発行責任者：地方会長 野見山 哲生



巻 頭 言



関東地方会に参加して

日本産業衛生学会北陸甲信越地方会
石川県常任理事 城戸 照彦

去る7月6日から7日にかけて、千葉市にて第282回日本産業衛生学会関東地方会例会（一泊）が千葉大学環境労働衛生学講座の諏訪園靖教授を企画運営委員長に、メインテーマ「快適環境と安全配慮、リスク管理」にて開催された。

初めに基調講演を諏訪園教授が「働き方と産業保健」のテーマでされた。働き方は経済動向、技術革新や文化的な変化と大きく関わり、特に、非正規雇用、交替制勤務や長時間労働が健康リスクであることが科学的に明らかにされたことを解説された。

続いて、金沢医科大学総合医学研究所中川秀昭教授が、「産業保健における実践と研究」と題して、北陸の代表的企業であるYKKにおける様々な産業保健活動の紹介とYKKを職域コホートとして、交替勤務や長時間労働と血圧、糖尿病やメタボリックシンドロームとの関係を明らかにされた。さらに、IntersaltやIntermapの国際共同研究にも参加され、塩分摂取や栄養と血圧との関連を証明した。極めつけは、退職者の約70%の追跡調査により、YKK退職者は対照群の約半分の死亡率であることを報告されたことだ。このような長期の追跡調査を実施することの困難さもさることながら、これまでの産業保健活動を定量評価できたことは大変貴重である。

翌日はメインテーマに沿って、シンポジウムが開催された。座長を君津健康センター山瀧一先生と私が勤めた。始めに、YKK副社長の吉田明氏が企業の健康経営の政策を語られた。次に、弁護士の黒葛原（つづらはら）歩氏から安全配慮義務・因果関係が否定された事例が報告された。義務違反の判定のポイントは、被災者本人の周辺の人々が業務量や心理的負荷を軽減するための具体的行動を取っているかどうかだと指摘された。その後も、大企業の専属産業医の立場、中小企業の嘱託産業医の立場、産業看護職の立場から発言があった。

全国学会は規模が大きすぎて、すべての企画に参加することはできないが、1つの企画に参加者全員で聞く地方会も良いものだった。他の地方会との交流も意義深いし、来月金沢で開催される北陸甲信越地方会でも金沢医科大学衛生学教室の石崎昌夫教授を中心に会員に役立つ企画が準備されているので、より多くの会員が参加されることを切に願っています。

第61回日本産業衛生学会北陸甲信越地方会総会

石川県医師会長 安田健二先生を学会長として石川県金沢市で開催致します。

総会前日には特別企画として職場環境改善セミナー、総会当日にはシンポジウムをそれぞれ予定しております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

学会総会

日時：平成30年10月21日(日) 9:00~15:00

会場：金沢商工会議所会館 ホール

〒920-0918 石川県金沢市 尾山町 9-13 Tel: 076-263-1151

特別企画 職場環境改善セミナー (要 事前参加申し込み 10月5日締切)

日時：平成30年10月20日(土) 15:00~17:00

会場：石川県文教会館 和室大会議室

〒920-0918 石川県金沢市尾山町 10-5 Tel: 076-262-7311

※参加申込書は地方会ホームページ「行事案内」よりダウンロードしてください。

http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/medicine/chair/pmph/sanei_chihoukai/info/index.html

問い合わせ先

第61回 日本産業衛生学会北陸甲信越地方会総会事務局

〒920-0293 石川県河北郡内灘町大学 1-1 金沢医科大学衛生学内

Tel: 076-218-8101 Fax: 076-218-8214

**第61回日本産業衛生学会
北陸甲信越地方会総会**
第61回学会長 安田 健二 (石川県医師会長)

日時 平成30年10月21日 日 9:00~15:30
会場 金沢商工会議所会館 ホール
〒920-0918 石川県金沢市 尾山町9-13 TEL 076-263-1151

プログラム

9:00~11:30 一般演説 9題 (予定)
11:30~12:00 地方会総会 大会長挨拶
12:00~12:15 日本産業衛生学会北陸甲信越地方会産業医部会総会
13:00~15:30 特別講演・シンポジウム「高齢労働者のウェルビーイングを考える」
① 講演「キャリアの視点から」13:00-14:00
講師：栗本 裕司 (株式会社パナソニック 取締役専務執行役員)
② シンポジウム「健康管理の視点から」14:00-15:30
1) 産業医の立場から 龍川 和浩 (千歳大学大学院医学研究科 環境労働衛生学)
2) 産業医の立場から 西澤 依小 (西日本旅客鉄道(株) 金沢健康増進センター)
3) 産業看護の立場から 室野 奈緒子 (株式会社PFU 健康管理室)
4) 衛生管理者の立場から 杉村 昌樹 (共和電機工業株式会社)
5) 総合討論

特別企画 職場環境改善セミナー 10月20日(土) 15:00~17:00
石川県文教会館 和室大会議室
〒920-0918 石川県金沢市尾山町10-5 TEL 076-262-7311
ワークショップ「ストレスチェックを利用した職場改善を進めるために」
特別講演・シンポジウム (21日) および職場環境改善セミナー (20日) につきましては、日本労働安全衛生協会に事前申請単位、日本産業衛生学会産業保健推進部門に事前申請単位を申請中です。

お問い合わせ先 第61回 日本産業衛生学会北陸甲信越地方会総会事務局
〒920-0293 石川県河北郡内灘町大学1-1 金沢医科大学衛生学内
TEL: 076-218-8101 FAX: 076-218-8214
e-mail: hygiene@kanazawa-med.ac.jp

主催 / 日本産業衛生学会北陸甲信越地方会 共催 / 石川県医師会・石川県産業保健総合支援センター
日本産業衛生学会北陸甲信越地方会産業医部会・産業看護部会
日本産業衛生学会北陸甲信越地方会ホームページ
http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/medicine/chair/pmph/sanei_chihoukai/

地方会事業から

◇福井県の産業看護部会の活動

福井県の産業看護部会の会長を前期まで務めておりました関電プラント(株)の長田です。部会では福井県産業看護職研究会として、情報交換の場をもった研修会を年2回定期的に実施しています。昨年平成29年度は、発達障害や運動指導、アンチエイジングの食育講座やストレスチェックによる保健指導というテーマで開催し、各15~17名の参加がありました。この研修会は産業看護職として身近な内容で職場に活かせることが多く、大変有意義な研修となりました。また、研修会ではお昼に情報交換の時間帯を設けており、日頃の悩み事なども含め意見を交換しております。それぞれの職場での情報を得ることで参考になる事が多

く、県内の産業看護職者が集う貴重な会となっております。これからも看護職同士の交流を深め、研究会の活性化や更なる充実した活動に繋がっていきたいと思います。

現在はパナソニック(株)A I S社デバイスS事業部森田の竹内さんが会長をつとめており、より活発な活動を進めていきますので、北陸甲信越地方会の皆様の御協力をお願いいたします。

(文責 長田 裕美子)

◇山梨衛生管理者交流会について

県内の衛生管理者のためのレベルアップ研修を行う目的で、当会は平成15年に設立されました。

これまでの研修の特徴としては、10名程度の選出された幹事の中から講師を選任している点にあります。

その中には有害職場を抱える大手事業所のベテラン衛生管理者も多く、豊富な経験を交えた研修内容になっています。年度初めに研修計画を作成して少なくとも月1回の研鑽を重ねて、200回近くを数えています。

通常の研修会の他に、総会などにおける記念講演では外部講師を依頼して時節に相応しい課題について学んでいます。本年度は第13次防における重点項目でもある「熱中症予防のための健康管理」と題して市立病院医師に講演をお願いしました。特に今年の夏の酷暑に先立って研修会を開催できたことは有意義でした。

法改正の折などにはタイムリーな対応を行う意味でも、本会の存在意義は高いものと思われれます。今後とも地道な活動を展開したいと考えています。

(文責 望月 明彦)

会員の取組み

「学会で演題発表をするということ」

昭和電工塩尻事業所健康管理センター
産業医 松澤 幸範



専属産業医になって早20年、昨年前期高齢者の仲間入りをしたのに、「いい年をして」今年も日本産業衛生学会と長野県医学会に演題を出してしまいました。

もともと大学でCOPD(慢性閉塞性肺疾患)などの臨床研究を続けてきた関係で、産業医になってからは職場の喫煙対策に取り組み始めました。最初は1回だけと思って発表した受動喫煙対策の事例報告を皮切りに、企業内診療所での禁煙外来、若者の禁煙支援、加熱式たばこへの対応などの報告が続き、気が付いてみれば日本産業衛生学会の発表だけでもシンポジウムも含め15回になっていました。

不思議なもので、発表が終了すると「この点が足りなかったので次はこうしよう。職場での活動のここを修正してここを強化してみよう」などのアイデアが浮かび、その活動結果をまた発表するといった感じで続いてしまったのです。

もちろん、発表せず学会参加だけならどんなに楽しく思うこともあります。結果をどのように発表という形にするか?わかりやすい図表にするには?などいろいろ悩んでしまうし、英文を含め関連論文を検索して読まねばなりません。

しかし、苦労をした分いいこともたくさんありました。産業医大の大和先生や国立保健医療科学院の樺田先生をはじめ多くの先生方からご支援を受けられたこと、独自の実践方法のおかげか様々な原稿依頼や取材を受けたこと、そしてなにより一番良かったことは事業所内の受動喫煙対策が着実に進んだことです。学会発表を継続することで活動の方向性がそのたびに修正されたりして、自分の知らないうちに職場の喫煙対策についてのPDCAサイクルがうまく機能したのかもしれない。

「継続こそ力なり」を実感したこの20年でした。さすがにもう学会発表はいいでしょう、と思いつつ、演題募集の案内にそわそわしている今日この頃です。

「当支店における産業看護活動」

日本通運(株)富山支店
奥野 敬生



「日本通運(株)」は陸・空・海の輸送を中心とした我が国最大手の総合物流サービス企業であり、グループ会社を含め、海外43カ国266都市698拠点、国内347支店を展開しています。私は富山支店に所属し、富山県西部地域の事業所で、長距離輸送、船舶輸送、引越、重機建設、コンテナ、倉庫内作業等の業務に従事する約230人の健康管理を担当しています。早いもので勤務年数が30年を超えました。その間、社会環境の変化、従業員の意識やライフスタイルの変化を肌で感じながらも未だに産業看護のあり方を模索しておりますが、これまでの活動を振り返ると、健診・測定活動と健康づくり活動が私の活動の原点になっていることは間違いがありません。

健診・測定活動は、従業員の健康問題を把握するための出発点です。また、経年的に健診結果を蓄積する

ことで、保健指導のエビデンスとしても活用できます。当支店では、法定内の定期(特定)健診、深夜業務者健診、給食配達者検便、特殊健診に加えて、法定外のがん検診(胃・腸・婦人科)、歯科健診、労災2次健診、睡眠時無呼吸検査等、また希望者には、PSA、ピロリ菌検査も実施しています。また、平成7年度～体脂肪測定、平成14年度からメンタルアンケート調査、平成15年度～近位視力検査、平成17年度～腹囲測定と法定よりも早い時期から取組んでいます。

健康づくり活動では、従業員の健康意識向上や行動変容を目指していますが、一朝一夕に結果がでるものではなく、継続実施が重要だと考えています。運動教室と栄養教室は30年以上、管理者メンタルヘルス研修は5年以上も継続しています。伝え方は毎回創意工夫を凝らしていますが、保健師として伝えたいことは、毎回、毎年、繰り返し伝えていきます。長く行うことで支店全体としての健康づくり意識も醸成されてきたように思います。

産業看護職は一人職場が多く、孤独感を感じる事もありますが、富山県には産業看護研究会があり、相談できる指導者や仲間恵まれています。また、産業看護師や産業カウンセラーなどの資格も取得しました。今後も研修や学会に参加して自己研鑽を積み、産業看護活動の向上に努めたいと思っています。

新入会員紹介

新潟県労働衛生医学協会
月岡 恵



私は、25年余り高度・急性期医療を担う病院に勤務したあと、約6年間の保健所勤務を経て、平成28年8月に現職に就きました。ここでの主な業務は、人間ドック・会社の定期健診・住民健診のほか、週2日の上部消化管内視鏡検査、産業医活動などです。それとは別に、新潟産業保健総合支援センターの産業保健相談員、地域産業保健センターでの小規模事業場の健診後指導や長時間労働者の面接指導なども行っています。産業医経験は7年です。勤務医時代、「救急医療」という錦の御旗の下、多い者で月150時間を超える時間外労働

が常態化しており、当時から長時間労働には問題意識を持っていました。このたび働き方改革関連法が国会で成立しましたが、今後もこの問題を注視して、過労死等の減少に少しでも寄与できれば、と考えています。また、可能であれば、産業衛生コンサルタントの資格取得を目指します。本学会へは平成29年に入会しました。学会からはさまざまな情報や知識を吸収することを期待します。



医療法人社団浅ノ川 心臓血管センター
金沢循環器病院
津田 祐子



このたび日本産業衛生学会ならびに北陸甲信越地方会に入会させて頂きました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

現在は市中病院の常勤医ですが、嘱託産業医として近隣の事業所で非常勤勤務もしております。恥ずかしながら3年前に資格を得るまで、産業医というものをほとんど知りませんでした。産業医学基礎研修を受け、実際に運送業、製造業の事業所に産業医として関わらせて頂き、難しいけれどとてもやりがいのある仕事だと年々深みにはまっていくのを感じておりました。

縁あって10月より株式会社金沢村田製作所の専属産業医をさせて頂く予定です。採用面接時に事業所内を見学致しましたが、同社の産業保健やコンプライアンス遵守の意識の高さに感銘を受けました。また同時にシステムがしっかりしているからこそメンタルケアの必要性が高まっていることも伺いました。もともと治療と仕事の両立や復職の支援、メンタルヘルスに関しては軽微な不調から長期的に携わりたく、今回の転職を決めた次第です。経験が浅く、悩み迷いながら精進する日々になると思います。諸先輩方には温かいご指導を賜りますようお願い申し上げます。



私たちの職場 『(公財)新潟県保健衛生センター 健康げんき倶楽部 健康支援課』

健診機関で働く産業保健スタッフの役割

田中 正美

新潟県保健衛生センターは、昭和16年4月、結核が蔓延していた時代に新潟県庁衛生課内に、結核予防会新潟県支部が設立されたのがはじまりです。その後、昭和53年に成人病健診が重要視され、関連団体が合併して財団法人新潟県保健衛生センターに発展しました。更に時代は進み、生活習慣病は予防できるという認識が広まり、健康づくりへの関心が高まった頃の平成24年に公益財団法人へ移行しました。定款で7つの公益目的事業を掲げ、現在、新潟県における県民の健康の保持増進と福祉の向上に寄与することを目標に健診・検査・健康づくり事業を実施しています。



健康診断だけでなく、健康づくり事業として、健康サポートシステムを構築し、受託企業の社員の皆様の健康管理のお手伝いをしております。健診結果から改善点をピックアップし、3つの柱を元に職場にあった健康、改善計画を立てます。この3つの柱とは、1つ目は、労働安全衛生の調整に関することです。産業医による健康診断の結果に基づく事後指導や職場における安全衛生活動を実施します。2つ目は、健康相談、健康教育に関することです。各企業に訪問し保健師、管理栄養士等が健診後の事後指導を実施します。また、平成25年4月に新潟市の中心部にある新潟日報社メディアシップ内に保健指導施設『健康げんき倶楽部』を開設し、特定保健指導、ストレスチェックの面接、心と体の健康づくりセミナー、管理栄養士による健康料理講座等を企画、実施しております。3つ目は、社員のメンタルヘルス相談、産業カウンセラーによるカウンセリング、メンタルヘルス研修会等も実施しております。このような健康づくり事業を実施し、社員の皆様の健康の保持・増進を支援しています。

健診機関の保健師等産業保健スタッフだからこそ、健診結果を活かし、各企業の健康ニーズに合わせた健康支援の提案ができると思っております。また、社員の皆様が健康になることは、企業の元気をアップし社員の皆様の家族や大切な人の健康にもつながることを信じて日々保健活動を行っております。

リレー形式で会員の皆様の紹介をつないでいきます！

会員Relay ☆三

次号へ

光陽生協病院 平野 治和 先生からのご紹介でスタート♪
「日下幸則名誉教授の門下生同士」



金山 ひとみ

所属： 福井大学医学部
職種／役職： 医師／助教
趣味： アイリッシュハーブ
ひとこと： ドイツ・ミュンヘン大学の気候療法プログラムに則り、勤労者や地域住民の健康増進と疾病予防に取り組んでいます。

学会地方会で出会った、働く人の健康に真摯に取り組む素敵な人



小野島 尚子

所属： 関西電力 人財・安全推進室
職種／役職： 保健師
趣味： 家事
ひとこと： 富山県産業看護研究会の代表世話人をしております。他県の産業看護職のみなさん、産業医の先生方との入会もおまちしております。

いっしょに会の世話人をしています。いつも支えてくれてありがとうございます。



田添 貴子

所属： 一般財団法人北陸予防医学協会 とやま健診プラザ
職種／役職： 保健師
趣味： フラワーアレンジメント
ひとこと： 7月よりオープンした健診施設にてはじめて業務の立ち上げから経験し、大変ではありますがやりがいを感じています。

事務局から

理事会報告

○平成30年度北陸甲信越地方会 常任理事会
下記の通り行われました。

日時：平成30年6月16日（土）13:00～15:00

会場：長野東急REIホテル（長野市）

○新任理事のご紹介

山梨県医師会理事（産業保健担当）

小林 正洋 先生

代議員選挙

○日本産業衛生学会役員、地方会長選挙のお知らせ
日本産業衛生学会の定款8, 25, 26条ならびに役員、代議員、地方会長の選任に関する細則に基づき、地方会長、本部代議員候補（34名）の選出を行います。本部理事候補選挙は、本年度から電子投票により選出いたします。

選挙日程は以下を予定しています。

ご投票よろしくお願ひ致します。

<地方会長選挙と代議員候補選挙>

9月10日 投票用紙発送（届き次第、投票可能）

10月7日 投票締切り（当日消印有効）

10月20日 開票

10月21日 選挙結果報告（第61回地方会総会）

<本部理事候補選挙>

11月11日 電子投票開始

11月25日 投票締切り

12月8日 開票

今後の行事案内

○第61回北陸甲信越地方会学会総会

開催日：平成30年10月20日（土）理事会

21日（日）学会・総会

学会長：石川県医師会長 安田 健二 先生

会場：金沢商工会議所

お知らせ

○会員情報にメールアドレスの登録をお願いします。

会員の皆様への様々なご連絡、地方会ニュースの配信、地方会役員選挙の電子化などメール送信を通じたご連絡が増えてまいります。アドレスをお持ちの方はご登録をお願い申し上げます。

<登録変更の方法>

(1) Webサイトから

日本産業衛生学会のトップページ より

<https://www.sanei.or.jp/>

会員ログイン 会員番号とパスワードでログイン
※初期パスワードは生年月日です。

プロフィール変更 左メニューよりプロフィール変更を選択し、入力画面にて変更する情報を入力。

プロフィールを変更する ボタンを押して確定

(2) FAX送信または郵送

日本産業衛生学会のホームページより書式をダウンロード

<https://www.sanei.or.jp/>

入会案内 会員番号とパスワードでログイン
※初期パスワードは生年月日です。

入会申込書 書式ダウンロードページへ

登録内容変更届（退会届を含む） 書式ダウンロード

変更内容を記入し FAX送信 または 郵送

FAX 03-5362-3746

郵送 〒160-0022 東京都新宿区新宿1-29-8 公衛ビル内

公益社団法人 日本産業衛生学会 宛

編集後記

この度、北陸甲信越地方会の地方会ニュース第3号を発行することができました。今号でも、各県の会員の皆様に各記事の執筆を賜り誠にありがとうございました。臨床におけるご経験豊富な先生方が更なる情報や知識の吸収を期待して本学会に入会されたり、長年学会発表を重ねてもなお知見の発信に意欲を示されたりと、今号でも様々なお立場での会員の皆様のお姿に感銘を受けました。発行に際してご協力、ご尽力いただきました先生方へ改めて感謝申し上げます。

今後も地方会員の皆様の活発なご活動を広報し、地方会におけるさらなる産業保健の発展を皆様とともに担っていきたいと思います。ご意見やご感想を今後のために編集委員まで頂ければ幸いです。

編集委員（五十音順）

編集委員長：森河 裕子

副編集委員長：塚原 照臣

編集委員：池田 裕子、稲寺 秀邦、遠藤 和男、
小坂 智恵子、佐藤 一博、高山 英之、
角田 ひろみ、西澤 依小、松永 康弘

事務局：上條 知子、水木 将

